

**製品名: ApoL4 ウサギポリクローナル抗体****カタログ番号: APRab07047**

研究使用のみ

**概要**

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,ELISA
反応性	ヒト、ラット、マウス
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

**応用**

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:100-1:300,ICC/IF 1:200-1:1000,ELISA 1:10000-1:20000
分子量	34kDa

**抗原情報**

遺伝子名	APOL4
別名	APOL4; Apolipoprotein L4; Apolipoprotein L-IV; ApoL-IV
遺伝子 ID	80832.0
SwissProt ID	Q9BPW4
免疫原	抗血清はヒト APOL4 由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 301-350

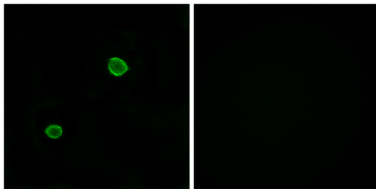
**背景**

この遺伝子によってコードされるタンパク質は、アポリポタンパク質 Lファミリーのメンバーであり、体全体における脂質交換および輸送、ならびに末梢細胞から肝臓へのコレステロール逆輸送に関与している可能性がある。この遺伝子には、2つの異なるアイソ

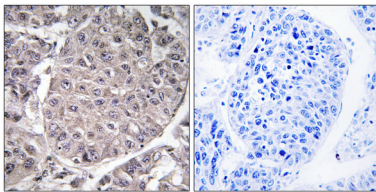
フォームをコードする2つの転写バリエーションが見つかっている。アイソフォームのうち、1つだけが分泌タンパク質であると考えられる。[RefSeq 提供、2008年7月],機能: 体全体における脂質交換および輸送に関与している可能性がある。末梢細胞から肝臓へのコレステロール逆輸送に関与している可能性がある。類似性: アポリポタンパク質Lファミリーに属する。組織特異性: 広く発現しており、脊髄、胎盤、副腎で最も高いレベルで発現している。また、脾臓、骨髄、子宮、気管、乳腺、精巣でも検出される。脳、心臓、膵臓では低いレベルである。、

## 研究分野

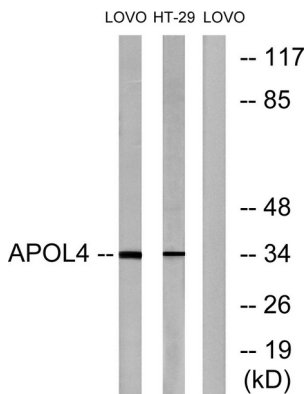
## 画像データ



APOL4抗体を用いたMCF7細胞の免疫蛍光染色。右の写真は合成ペプチドでブロッキングした状態。



APOL4抗体を用いたパラフィン包埋ヒト肝癌組織の免疫組織化学染色。右の写真は合成ペプチドでブロッキングした状態。



APOL4抗体を用いたLOVO細胞およびHT-29細胞のライセートのウェスタンブロット解析。右レーンは合成ペプチドでブロッキングされている。